

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-45	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
15 三省堂	論Ⅲ704	MY WAY Logic and Expression Ⅲ		

1. 編修の基本方針

本書は、英語学習の特質を踏まえて、特に「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の3領域を中心とした知識・技能の習得とともに、聞いたり、読んだりして得た情報や考えなどを、論理的に発信できるような思考力・判断力・表現力を身につけられることを目標に編修した。そして、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、特に話したり書いたりすることを通して、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編集の基本方針とする。

- 特に「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の活動を通して、ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 特に「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、「論理・表現Ⅱ」における学習で習得した能力を更に伸ばさせながら、英語の知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する話題やテーマを提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。
- 生徒の学習段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材（テーマ）	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。（第1号）	各LESSON 各Situation 各Special Activity
	②各題材においては、高校生の感性に訴えるテーマを扱った。（第1号）	各LESSON 各Situation 各Special Activity
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。（第2号）	LESSON 2、3、5、10
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。（第3号）	LESSON 6、9、10
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。（第4号）	LESSON 4
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。（第4号）	LESSON 4、7
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。（第5号）	LESSON 1、8、Situation 3
	⑧平和を扱った課を設けた。（第5号）	LESSON 10
言語活動	①本課の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。（第2号）	各LESSONのTry It Out!、各Special Activity、各Situation の Role Play、ブログに英語の旅行記を書いてみよう
	②本課の言語活動は、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題など、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。（第1号、第2号、第3号、第4号、第5号）	各LESSONのTry It Out!、各Special Activity
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。（第3号）	各Situation の Role Play、各Special Activity
付録	生徒の自律的な学習を支えるコーナーや付録などを配置した。（第2号）	目次／本書の構成と使い方／英語の表現を効果的に身につけよう／各LESSONのWORDS & PHRASES、Useful Expressions、Grammar for Speaking and Writing／ブログに英語の旅行記を書いてみよう／付録／二次元コード（音声など）
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。（第3号、第5号）	各LESSONの本文、各SituationのScript、Exercise
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。（第2号）	目次／本書の構成と使い方／各LESSON／各Special Activity／各Situation／付録

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 国際理解教育の観点から、特に日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、話題やテーマ、活動の面で配慮した。
2. 自分の意見や考え、主張などを論理的に発信することができ、また国際理解の観点からも、他の国の人と積極的にコミュニケーションを交わすことができる態度が養えるように、話題やテーマ、活動の面で配慮した。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する話題やテーマを配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104-45	高等学校	外国語	論理・表現Ⅲ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	論Ⅲ704	MY WAY Logic and Expression Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

(1) 基本方針

- ① 多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ② 「論理・表現Ⅱ」の内容を踏まえて、「論理・表現Ⅲ」への接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③ 3つの領域別の言語活動および複数の領域を結びつけた統合的な言語活動を通して、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」を中心とした発信能力の育成を強化し、特に論理的に表現する能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④ 教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ⑤ 知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥ 英語を「聞くこと」や「読むこと」を通じて得た情報などを基にして、様々な場面に応じて適切に「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」ができるようにし、あわせて論理的思考力や批判的思考力が養えるような配慮をする。また、そうしたコミュニケーション活動や体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦ 学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、設問や活動などを工夫、充実させる。

(2) 本書の特色と編集上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

B. 題材内容

- 1) 「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」ためのテーマとして、ことばの教育、国際理解教育（異文化理解教育）、人間教育の観点を基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、興味を喚起する内容にした。
- 2) テーマは、身近な話題、学校生活、芸術、日本文化、外国文化、科学技術、健康、環境問題、社会問題など多様な内容にした。なお、「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」ための形式は、会話、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、また発表のための原稿作成などを基本とした。
- 3) テーマの設定や登場人物は、英語が広く使われている現状と国際理解との関係から日本を中心に、主に英米を中心とした英語圏諸国やインド等の国々の英語話者にし、特に高校生が実際に「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」という状況を重視して、より現実と遊離しない状況を設定した。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文構造」「文法事項」は表現活動に活用することを基本として精選し、「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」上で必要と思われる基本的な事項であるとともに、より運用度が高いものを扱った。
- 3) 「文構造」「文法事項」の知識の確認、習得については「論理・表現Ⅰ・Ⅱ」での既習事項の学習から始め、「論理・表現Ⅲ」の学習へと負担なく移行ができるように配慮した。
- 4) 「語」は、「英語コミュニケーションⅢ」程度の範囲で、表現活動に必要と思われる語彙・連語を精選して取り上げた。
- 5) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

D. 言語活動

言語活動は、特に「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」必然性を重視し、「言語の使用場面」を具体的に提示すると共に、この3つの領域の言語活動および複数の領域を結びつけた統合的な関連が図れるように、各 LESSON の Try It Out!、Special Activity などにおいて形式を工夫した。また、「言語の働き」にも留意し、「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」上で多用される表現についても、「論理・表現Ⅱ」での学習を踏まえながら基本的なものを精選し、系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

▶ 1. 全体の構成

- ① 全体構成は、Unit 1 の LESSON (1~10) と Special Activity、Unit 2 の Situation (1~10) を中心とした。「話す [やり取り]」「話す [発表]」「書く」技能を中心として、その習得を目指す教材としつつ、複数の領域を結びつけた統合的な言語活動が図れるように配慮した。
- ② 各 LESSON では、学校生活、社会問題、環境問題など、生徒にとって関心のある日常的な話題や社会的な話題の中で自分のことに置き換えて発表をしたり、文章を書いたりする練習ができるように工夫した。
- ③ 各 Special Activity では、「ディスカッション」「ディベート」「エッセイ・ライティング」の活動において、それぞれの活動の特徴を理解すると同時に、実際の場面を想定した練習が段階を追ってできるように構成を工夫した。
- ④ 各 Situation では、海外への語学研修で遭遇するさまざまな場面でのやり取りの例を示し、それをもとに自分で考えてやり取りの活動ができるように構成を工夫した。

▶ 2. LESSONの構成と内容

- ① 本文：Try It Out!の表現活動の題材となる英文
- ② Questions：本文の内容を理解できたかどうか確認するための質問文
- ③ Try It Out!：本文にもとづいて、段階を追って [発表] や [書く] 活動を行う
- ④ Useful Expressions：Try It Out!の表現のモデルとなる英文
- ⑤ Grammar for Speaking and Writing：ターゲットの文法項目の特徴を例文や平易な解説文などを用いて説明
- ⑥ Exercise：ターゲットの文法項目を確認し、活用するコーナー

▶ 3. Special Activityの内容と構成

- ① ディスカッション、ディベート、エッセイ・ライティングの活動を行う
- ② 活動の流れを復習→活動の例示→活動の実践、の順番で段階を追って活動ができるように構成

▶ 4. Situationの構成と内容

- ① リスニング：やり取りのモデルとなる英文をリスニング
- ② Questions：モデル文の内容を理解できたかどうか確認するための質問文
- ③ Role Play：モデル文を参考に、役割分担して [やり取り] の活動を行う

▶ 5. 上記以外の構成と内容

- ① Try It Out! 表現集 (付録)：生徒が Try It Out!の活動でどのような表現をすればよいかの一例を示す表現集

▶ 6. 巻末に「Try It Out! 表現集」の他、「グラフを使うときの表現」「数字の読み方と数の表現」、表3に「AREAで論理的に意見を伝えよう」を設け、学習上の配慮とした。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (◎=LESSON ○=Special Activity ☆=Situation * =付録)	学習指導要領の内容
事項 論理の構成や展開及び表現などに関する	<p>◎LESSON</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的や場面、状況などに応じた論理の構成や展開ができ、効果的な表現につながるように、「話すこと [発表]」「書くこと」の活動の達成にふさわしい言語材料や機能表現、語彙、文法事項を選定し、構成を工夫した。 <p>○Special Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> 3領域（「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」）の活動の基本的な特性を理解し、ディスカッションやディベート、エッセイ・ライティングなどそれぞれの活動に特徴的な論理展開や表現がスムーズにできるように、構成を工夫した。 <p>☆Situation</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな目的や場面、状況に応じた「話すこと [やり取り]」の活動ができるように、論理展開や表現を工夫した。 	(1) ア (ア) (イ)
たり、情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現し たり、伝え合ったりすることに関する事項	<p>◎LESSON</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的话题や社会的な話題について、多様なテーマに関心をもてるように、各LESSON本文のテーマを設定した。 本文から得られた情報や考えを「話すこと [発表]」や「書くこと」の活動に結びつけられるように、Try It Out! を配置して情報や自分の考えを整理しながら段階を追って適切な表現で伝えられるようにした。また、Useful Expressions や付録の「Try It Out! 表現集」などを参考にすることで、適切な表現につなげやすくなるような構成にした。 <p>○Special Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題に対して、英語を読んで得た情報や考えを活用して「話すこと [やり取り]」や「書くこと」の活動ができるようにするために、情報や自分の考えなどを整理しながら段階を追って適切な表現に結びつけられるように構成を工夫した。 <p>☆Situation</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を聞いて得た情報や考えを整理して適切な表現で「話すこと [やり取り]」の活動ができるように、さまざまな目的や場面のモデル文を盛り込み、それを活用して活動につなげられるような構成にした。 	(2) ア イ
話すこと「やり取り」	<p>◎LESSON</p> <ul style="list-style-type: none"> Try It Out! のTRYでは、友だちの発表を聞いたり書いたものを読んだりした後、それに対して質問やコメントをする活動を設定した。 活動の基礎となる文構造や文法事項については、Grammar for Speaking and Writing を設け、実際の「やり取り」の活動と効果的に関連付けながら、活用できるように配慮した。 <p>○Special Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ディスカッションの活動では、日常的话题や社会的な話題について、複数の資料を活用して課題解決のための話し合いをする活動を設定し、情報や考え、気持ちなどを整理して詳しく伝え合うことができるようにした。 ディベートの活動では、日常的话题や社会的な話題について複数の資料を活用してやり取りを行う活動を設定し、情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに整理して詳しく伝え合うことができるようにした。 論理・表現 I・II で学習してきた内容を復習して活動の流れや論理の展開を確認するなど、段階的に学習できるように構成を工夫した。 ディスカッションやディベートでは、やり取りした内容を整理して書く活動を設けた。 TRYでは、ほかのグループのやり取りの活動を聞いて、質疑応答や意見交換をする活動を設けた。 <p>☆Situation</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的话题について、情報や考え、気持ちを整理して伝え合う会話を設定した。 「入国審査」「レストラン」「病院」など、海外に行く際に不可欠である実践的な場面を設定し、そこで使用される多様な語句や文、慣用表現などによる対話を通して、必要な情報や気持ちを整理して伝え合う典型的な会話ができるようにした。 	(3) ① ア イ (ア) (イ)
「発表」	<p>◎LESSON</p> <ul style="list-style-type: none"> Try It Out! のスピーチやプレゼンテーションの活動では、日常的话题や社会的な話題について、複数の資料を活用して、聞き手を説得することができるよう、論理の構成や展開を工夫して伝える活動を設定した。 情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに詳しく話して伝えるための支援として、本文、Questions、Useful Expressionsなどを設け、学習者のための一助とした。 	(3) ① ア ウ (ア) (イ)

	<ul style="list-style-type: none"> ・特に、言語活動において活用頻度の高い機能表現や慣用表現を Useful Expressions で系統的に示した。 ・Try It Out! のTRYでは、発表のあとに質疑応答をしたり、感想を伝えたりする活動を設けた。 ・活動の基礎となる文構造や文法事項については、Grammar for Speaking and Writing を設け、実際の「発表」の活動と効果的に関連付けながら、活用できるように配慮した。 <p>☆=Situation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TRYでは、やり取りのあとにその内容を発表する活動を設けた。 <p>*付録「Try It Out! 表現集」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LESSON の「発表」の活動をより豊かに活発なものにするために、Try It Out! の活動と関連づけた「表現集」を付した。 	
書くこと	<p>◎LESSON</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Try It Out! で日常的な話題や社会的な話題についての「書く」活動を通して、読み手を説得することができるよう、情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに複数の段落からなる文章を書いて詳しく伝える活動を設定した。 ・上記の活動のための支援として、本文、Questions、Useful Expressionsなどを設け、学習者のための一助とした。 ・特に、言語活動において活用頻度の高い機能表現や慣用表現を、Useful Expressions で系統的に示した。 ・Try It Out! のTRYでは、書く活動のあとに内容を読み合い、質疑応答をしたり意見や感想を伝えたりする活動を設けた。 ・活動の基礎となる文構造や文法事項については、Grammar for Speaking and Writing を設け、実際の「書くこと」の活動と効果的に関連付けながら、活用できるように配慮した。 <p>○Special Activity のエッセイ・ライティングにおいては、社会的な話題について複数の資料を活用して、自分の意見や主張などを効果的な理由や根拠とともに複数の段落からなる文章を書いて、詳しく伝える活動を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った論理的な「書く」活動の展開が学習できるように、発想から推敲までの段階的なプロセスを踏めるように構成を工夫した。 ・TRYでは書く活動のあとに内容を読み合い、質疑応答をしたり感想を伝えたりする活動を設けた。 <p>☆=Situation の「ブログに英語の旅行記を書いてみよう」においては、日常的な話題について、情報や考え、気持ちなどを効果的な理由や根拠とともに複数の段落からなる文章を書いて詳しく伝える活動を設定した。</p> <p>*付録「Try It Out! 表現集」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LESSON の「書く」活動をより豊かに活発なものにするために、Try It Out! の活動と関連づけた「表現集」を付した。 	(3) ① ア エ (ア)(イ)
言語の働きに関する事項	<p>◎LESSON ○Special Activity ☆Situations</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を行うにあたっては、「言語の使用場面」と「言語の働き」の中から、3領域の活動目標を達成するためにふさわしいものを取り上げ、それぞれの活動の中で、有機的に組み合わせて活用した。 ・「言語の使用場面」については、本書全体を通して、多様な場面を設定した。(例：学校、地域、海外研修 など) ・「言語の働き」については、全LESSON、Special Activity、Situations を通して、1つ以上の表現を各活動の中で扱った。(例：あいさつをする、あいづちをうつ、意見を言う、驚く、結論を述べる、誘う、賛成する、反対する、提案する、電話をかける、名乗る、励ます、話しかける、間をつなぐ、申し出る、呼びかける、理由をたずねる、理由を述べる、礼を言う、例を述べる、列挙する、話題を示す など) 	(3) ②

※配当時間については、別紙「カリキュラム表」を参照。

カリキュラム表

(L=LESSON、SA=Special Activity、Si=Situation)

Unit	レッスンなど	タイトル	主な活動	主な言語材料	主な言語の働き	主な言語の使用場面	配当時間
		英語の表現を効果的に身につけよう	発表		主張する／説明する	学校生活／発表	1
Unit 1	L.1	Survey Results	発表	動詞の種類	説明する／報告する／提案する	学校生活／発表	3
	L.2	Writing an Email	書く	時制	説明する／質問する／依頼する	社会生活／電子メールのやり取り	3
	L.3	Writing a Blog	書く	助動詞	報告する／説明する／提案する	社会生活／ブログへの書き込み	3
	L.4	Describing Activities	発表	不定詞・動名詞	紹介する／描写する／説明する	社会生活／地域での活動	3
	SA	ディスカッションをしよう	やり取り		主張する／賛成する／反対する／理由を述べる	学校生活／ディスカッション	3
	L.5	Suggesting What to Buy	発表	分詞・分詞構文	推薦する／説明する／理由を述べる	学校生活／学校での活動	3
	L.6	Making a Proposal	発表	比較	提案する／説明する／主張する	社会生活／地域での活動	3
	L.7	Making a Speech	発表	関係詞	事実・情報を伝える／提案する／説明する	学校生活／スピーチ	3
	L.8	Writing an Invitation	書く	仮定法	誘う／事実・情報を伝える／説明する	社会生活／メッセージ	3
	SA	ディベートをしよう	やり取り		主張する／考えや意図を伝える／理由を述べる	学校生活／ディベート	3
	L.9	Suggesting a Solution	書く	名詞・代名詞	提案する／事実・情報を伝える／説明する	社会生活／発表	3
	L.10	Talking about the Future	発表	前置詞・接続詞	描写する／説明する／推論する	学校生活／発表	3
	SA	エッセイ・ライティングをしよう	書く		主張する／考えや意図を伝える／理由を述べる	学校生活／エッセイ・ライティング	3
Unit 2	Si.1	At the Airport	やり取り		質問する／説明する／許可する	社会生活／空港の入国審査	2
	Si.2	Homestay	やり取り		説明する／質問する／相づちを打つ	社会生活／ホームステイ	2
	Si.3	Gifts from Japan	やり取り		説明する／質問する／感謝する	社会生活／ホームステイ	2
	Si.4	Lost Items	やり取り		説明する／描写する／質問する	社会生活／電話での問い合わせ	2
	Si.5	Scheduling a Meeting	やり取り		質問する／提案する／承諾する	社会生活／日程調整	2
	Si.6	Visitor Information Center	やり取り		質問する／説明する	社会生活／観光案内所	2
	Si.7	At a Restaurant	やり取り		質問する／説明する／助言する	社会生活／レストラン	2
	Si.8	At the Doctor's Office	やり取り		説明する／質問する／描写する	社会生活／病院	2
	Si.9	Buying a Ticket	やり取り		質問する／説明する／承諾する	社会生活／チケット売り場	2
	Si.10	At a Café	やり取り		質問する／主張する／共感する	社会生活／意見交換	2
		ブログに英語の旅行記を書いてみよう	書く		事実・情報を伝える／説明する	社会生活／ブログへの書き込み	1
[付録] ① Try It Out! 表現集 ② グラフを使うときの表現 ③ 数字の読み方と数の表現						配当時間合計	61